

2018年

見る知る巡る!

みえミュージアム セミナー



三重のおもしろミュージアムの
とおきセミナーを
三重県生涯学習センターで!

受講
無料

事前申込制
先着順

9月から11月にかけて、三重県内のユニークなミュージアム6館が、その年の一押し展覧会等をテーマにしたセミナーや、パネル展示を三重県総合文化センターで開催します。
プレ展示を「見」て、セミナーで「知」ったら、ミュージアムを「巡り」たくなるなる!

会場



まなびい場情報コーナー「みるシル」(三重県生涯学習センター 3階)

※セミナー会場は各ミュージアムではありません



9/5 水

13:30 ▶ 15:00



講師 鈴鹿市考古博物館

学芸員 吉田 真由美 さん

9/12 水

13:30 ▶ 15:00



講師 海の博物館

学芸員 縣 拓也 さん

10/4 木

13:30 ▶ 15:00



講師 石水博物館

事務局長 蔵前 克也 さん



三重の埴輪の楽しみ方

寺谷古墳群出土巫女型埴輪

特別展「三重のはにわ大集合!」では、三重県内の古墳から出土した人物や動物、家、武具などの形象埴輪を一堂に集めました。愛らしい顔立ちの人物埴輪、脚の表現に個性がみえる鶏形埴輪など、展示している埴輪を楽しく見るための細かなポイントについて、展示ができるまでの裏話を交えながら紹介します。

信じる者は



～タコへの信仰と地域の振興～



鳥羽市畔の大日さん絵馬

日本人はタコを食べるのが大好きなだけでなく、全国のタコ薬師やタコ地蔵は病気快癒などの信仰を集め、近年では合格祈願(オクトパス=置くトパス)の対象にもなっています。ユーモラスな形状から、景観デザインやキャラクター化など、地域振興の面でも活躍中です。鳥羽も美味しいタコが捕れるまちです。タコを通じ、海と人との深い関係を学びましょう。

川喜田半泥子と無茶の芸



川喜田半泥子は津市の素封家に生まれ、百五銀行の第六代頭取のほか多くの会社の要職を務める一方で、多芸多趣味の人として知られています。中でも陶芸は趣味の域を超えていると評価され、近代茶陶を主導する役割を果たしました。本年は半泥子生誕 140 年にあたり、この機会に改めて半泥子とその作品の魅力についてご紹介します。

申込
受付

事前申込制・先着順 (受講無料)

電話・FAX・ホームページ・E-mail・センター窓口・郵送にて受付

※座席に余裕がある場合当日参加可能です。

※未就学児の入場はお断りします。

※講師の都合などにより、やむを得ず講演を中止する場合があります。

※受講案内等は送付いたしません。

手話通訳をご希望される方へ

できるかぎり、開催の1か月前までにお申込ください。

※調整の結果、ご要望にお応えできない場合がございます。ご了承ください。

問合・申込先

三重県生涯学習センター tel.059-233-1151 / fax.059-233-1155